

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

住吉小	学校	児童数	50
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.96	20.04	32.43	37.74	34.59	9.82	136.22	19.48	47.86
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	14.33	18.76	37.12	37.36	30.28	10.09	129.40	13.12	50.08
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

本校5年生男子の体力合計点は47.86で、大阪市平均（51.13）や全国平均（52.53）を下回りました。20mシャトルランやソフトボール投げに課題が見られます。一方で、上体起こしや長座体前屈については市や全国の平均に近い数値を示しており、バランスの取れた体力の向上が求められます。

アンケート結果からは、「運動が好き」と答えた児童は69.6%で、全国（73.0%）や大阪市（74.3%）と比べてやや低いものの、「やや好き」と答えた児童は26.1%と多く、全体として運動に対して前向きな姿勢が見られました。また、「運動が嫌い」と答えた児童は0%であり、運動自体への苦手意識はないものと考えられます。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は39.1%と、大阪市平均（11.0%）や全国平均（9.2%）と比べて高く、日常的な運動習慣の定着が課題です。ただし、体育の授業やクラブ活動を通じて一定の運動量を確保できている児童も多く、今後は自主的な運動の機会を増やす取り組みが必要です。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、全国平均と比較して児童の運動時間が不足しており、週0～59分しか運動しない児童が全体の約39.1%に達しています。また、握力や反復横跳びの成績でも全国平均と比べて顕著な差が見られ、特に体幹や瞬発力の向上が課題です。この背景には、継続的な運動習慣の不足があると考えられます。今後、朝や昼休みに短時間で気軽に参加できる運動プログラムを導入し、身体活動量の増加を図ります。さらに、家庭との連携を強化し、放課後の積極的な運動を取り入れていきます。

体育の授業の充実に加え、運動会や体力向上イベントを通じて、児童が自主的に体力向上に取り組み、楽しみながら運動に親しむ機会を増やしていきます。